

第 15 回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議

共同ステートメント（ポイント）

【2015 年 10 月 8 日 ペルー・リマ】

1. 我々は、麻生太郎副総理兼財務大臣兼金融担当大臣の議長の下、ペルー・リマにおいて、第 15 回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議を開催し、最近の世界経済の状況や地域金融協力の進展について意見交換した。
2. 我々は、現在の経済動向や各々の成長見通し及び最近の金融市場の変動とその根底にある経済状況について議論した。我々は、世界の経済成長が我々の期待する水準に達していないこと及び地域金融の安定にとって脅威となる課題を認識した上で、経済の信認と金融の安定を促進するため、我々の行動を注意深く測定し、明確にコミュニケーションを行うとともに、動向を監視し、波及効果を評価し、必要に応じ新たなリスクに対処する。この点において、我々は、中国、日本及び韓国の間で意思疎通のチャンネルを引き続き強化する。我々は、国内及び域内の経済成長を維持するため、適時かつ効果的なマクロ経済政策を実施することにコミットしている。我々は、より強固で均衡が取れかつ持続可能な成長に向けて必要なリバランスを達成するため、引き続き構造改革を推進する。
3. 我々は、ASEAN+3 における地域金融協力の更なる進展の方向性に

ついて議論した。我々は、アジア地域における経済の信認と金融の安定を確保するため、地域金融協力を推進することにコミットしている。我々は、チェンマイ・イニシアティブ（CMIM）の即応性と有効性を更に増していくため、域内各国と連携していく。我々は、ASEAN+3 マクロ経済リサーチ・オフィス（AMRO）が近い将来に国際機関化することを歓迎する。我々は、域内のマクロ経済分析、政策対話及び技術支援における AMRO の能力と役割の更なる強化にコミットしている。我々は、アジア債券市場育成イニシアティブ（ABMI）において、より具体的な協力の成果を見ることがを期待している。

4. 我々は、2015 年 ASEAN+3 財務大臣・中央銀行総裁会議の共同議長としての韓国とマレーシアのリーダーシップを多とした。また、我々は、2016 年 5 月にドイツ・フランクフルトで開催される第 19 回 ASEAN+3 財務大臣・中央銀行総裁会議において、中国とラオスが共同議長を務めることについても支援していくことで合意する。
5. 我々は、国際経済協調のための第一のフォーラムである G20 において協力を強化することで合意し、G20 アンタルヤ・サミットの成功に向けて連携していく。我々は、中国が議長国となる 2016 年の G20 に期待し、これを積極的に支援していく。
6. 我々は、日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議が、政策対話と調整

のための効果的な場として役割を果たすと確信し、2016 年 5 月にドイツ・フランクフルトにおいて再会することを確認した。